

皇大神宮 内宮

こうたいじんぐう (ないくう)

あまてらすおおみかみ
皇室のご祖神の天照大御神をおまつりする、わが国で最も尊いお宮です。五十鈴川の川上に千古の森に囲まれて、2000年の時を超えて古代のたたずまいを今日に伝えています。

お参りの作法は
二拝二拍手
一拝です



▶ **荒祭宮 あらまつりのみや**
天照大御神(あまてらすおおみかみ)の荒御魂(あらみたま)をまつる別宮(べつぐう)で、荒御魂とは神の特別な働きをする状態、または神が現れた状態といわれています。

▶ **正宮 しょうぐう**
社殿の中心の正殿(しょうでん)は4重の垣根に囲まれています。唯一神明造(ゆいいつしんめいづくり)の古代の様式を伝え、萱葺き(かやぶき)の屋根には10本の鯉木(かつおぎ)がのせられ、4本の千木(ちぎ)の先端は水平に切られています。

▶ **子安神社 こやすじんじや**
木華開耶姫命(このはなさきやひめのみこと)をおまつりしています。奥にある大山祇(おおやまつみ)神社の祭神の娘にあたります。子授け、安産、子育ての信仰があります。

▶ **神楽殿 かぐらでん**
ご祈祷(きとう)のお神楽(かぐら)を行う御殿(みけでん)です。隣の御饗殿(みけでん)でもご祈祷をしています。お札やお守りはここで受けられます。

▶ **参集殿 さんしゅうでん**
参拝者用休憩所(さんぱいしやうきゅうじよ)で、神宮のビデオを上映しています。ここには能舞台(のうぶたい)があり奉納行事(ほうなこうじ)などに使われます。ここでもお札やお守りを受けられます。

▶ **宇治橋 うじばし**
五十鈴川に架けられた木造の橋は神宮の表玄関(うらぐわん)です。長さは101.8m、両はしの鳥居は、両正宮の旧正殿棟持柱(むなもちばしら)をリサイクルしています。

▶ **風日祈宮 かざひのみのみや**
風の神をまつる別宮(べつぐう)です。鎌倉時代の元寇(げんこう)の時、神風(かみかぜ)を吹かせて日本を守った神です。

▶ **五十鈴川御手洗場 いすずがわみたらし**
参拝する前に心身を清める場所です。清流で有名な五十鈴川で、身も心もリフレッシュしてからお参りしましょう。

げくうほうめん
外宮方面
バス停

げくう
外宮

さんぐうあんないしよ
参宮案内所

えしみほりしよ
衛士見張所

おおやまつみじんじや
大山祇神社

えしみほりしよ
衛士見張所

みうまや
御厩

けいせいぶ
警衛部

しんえん
神苑

たいしやうてんのうおうえのみまつ
大正天皇御手植松

こさつおさめしよ
古札納所

てみずしや
手水舎

いすずがわ
五十鈴川

たままつりのかみ
瀧祭神

お札やお守りは
ここで受け下さい

豊受大神宮

外宮

とようけだいじんぐう (げくう)

あまてらすおおみかみ 天照大御神のお食事を司る神の豊受大御神をおまつりしています。
とようけのおおみかみ 豊受大御神
やまだのはら 山田原
内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。



神宮 -お伊勢まじりは外宮から-

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮(内宮)と、山田原にある豊受大神宮(外宮)の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。



神宮司庁 広報室

〒516-0023 伊勢市宇治館町1 ☎0596(24)1111(代)
<https://www.isejingu.or.jp/>

